

保護者様

二本松市立原瀬小学校長 大越 吾都臣

オンラインゲーム等の利用についてのお願い

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、先日の個別懇談では、貴重なお時間を頂戴し子どもたちのために有意義な話合いができましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、先日、個別懇談でも複数の保護者より話題としてあげられたゲームに関する件でアンケートを児童に実施いたしました。その結果を基に問題点等についてお知らせをいたします。特に、オンラインゲームについては、日本のみならず世界中で話題性や危険性について報じられておりますが、この書面では、オンラインゲームに限らずゲーム全般の問題点等について記しています。保護者の皆様におかれましては、この問題点等をよく理解した上で、お子様のゲームとの関わり方についてご家庭でルールを決めるなど話合いをしていただければと思います。

なお、学校では、29日までにオンラインゲームの問題点等について児童に指導をしました。16日間の夏休みがもうすぐ始まります。有意義な夏休みが送れるよう、学校と家庭で子ども達を見守っていきたいと思います。

◇ オンラインゲームの問題点（ウェブ上の記事を参考にしました。本校の実例ではありません。）

- 1 知らない人とつながってしまう
 - ・ 子どものふりをして大人が紛れ込んでくることがある。
 - ・ 名前や学校名などの個人情報話さないようにと親に注意されていても、ゲームに熱中している時に油断してついすっかり話してしまうことがある。
- 2 長時間続けてしまう
 - ・ 友だちとプレイしていると途中で抜けづらくなる。
 - ・ グループで協力して戦っていると自分だけ先に辞めるのは難しくなる。
 - ・ 年上の人（中学、高校生など）とプレイしていると言いなりになりやすく抜けにくい。
- 3 課金を続けてしまう
 - ・ 基本は無料でプレイできるが、お金をかければキャラクターの見た目を自分の好みに変えられるなど誘惑が多い。
 - ・ オンラインでの課金は子どもにとってはお金を使ったという感覚がない。また、買ったものはバーチャルなので親は何を買ったのかほとんど気づかない。
 - ・ 課金アイテムを友達にプレゼントすることができるため、他の友達が「自分も欲しい。」とたかってくることもある。
 - ・ 課金しすぎて親に禁止されたので、友達に課金を頼んで買ってもらうとする。
- 4 チャット機能で問題が起きてしまう
 - ・ 個人情報が洩れる。
 - ・ ゲームに熱中していると戦闘シーンなどでは、不適切な表現「ぶっ〇す。」「〇ね。」などの言葉が飛び交うので、感覚がマヒして日常生活でも口に出ることがある。
 - ・ 戦闘シーンでは興奮しているので、相手の厳しい言葉で傷つくことがある。
 - ・ ゲームへの参加強要やそれを断ることでの仲間外れやいじめのきっかけとなることもある。

◇ ゲーム依存の問題点

- 1 睡眠不足等による体調不良、依存症や鬱など心身の健康障害の原因となり得る。
- 2 学力低下との因果関係となる可能性が高い。
- 3 仲間外れ、暴言などのいじめにつながる人間関係を誘発する可能性がある。
- 4 課金などの行為から、親のクレジットカードの無断使用など、犯罪行為につながる可能性が大きい。

（お問合せ等 教頭 及川博睦 0243-22-0946）